

令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 人事課

担当名: 人事管理担当

内線: 2424

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
p3	全職員のための自己実現支援事業			一般会計	総務費	総務管理費	人事管理費	職員人事管理費	
事業期間	令和 7年度～	根拠法令	障害者の雇用の促進等に関する法律		針路	07	誰もが活躍し共に生きる社会の実現		SDGsゴール 8, 10
					分野施策	0703	障害者の自立・生活支援		SDGsターゲット 8-2, 8-5, 10-2, 10
1 事業概要 「職員の主体的スキルアップ支援」と「障害者が活躍しやすい職場づくり」を強化することで自己実現をサポートするとともに、様々な働き方改革支援策と合わせて、職員のウェルビーイングにつなげていく。 ア 職員のスキルアップ支援事業 △1,220千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 職員のスキルアップ支援事業 3,500千円 → 2,280千円 イ 障害者の多様な働き方実現支援事業 1,880千円 (2) 事業計画 ア 職員のスキルアップ支援事業 職員が今後のキャリアも含め、県の業務に関連しかつ自己のスキル向上に資するものとして取得した資格に関して、要した費用の一部を助成 イ 障害者の多様な働き方実現支援事業 (ア) 障害者職場実習 (イ) 障害者就労支援施設等へのジョブナビキャラバン 県の業務内容や県で就労している障害を持つ職員の様子を紹介 (ウ) 障害者インターンシップ (エ) 障害者雇用定着促進 障害がある全ての短時間職員にアンケートを実施し、外部アドバイザーとの相談内容を調査。職場は相談内容を基にフォローを実施 (3) 事業効果 職員の主体的なスキルアップを支援することで職員の職務能力が向上するとともに、獲得したスキルをベースとした人事配置により自己実現の機会を確保する。 また、短時間勤務の障害者雇用を実施することで、短時間勤務を希望する障害者の雇用機会を拡大する。 これにより、全職員（健常者・障害者）が自己実現でき、職員のウェルビーイングが向上するとともに、質の高い県民サービスの提供にもつながる。 【活動指標（アウトプット）】 資格取得に要した費用の一部を助成70人 職場実習の受入10件、施設へのPR活動30か所、インターンシップの受入10件 【成果指標（アウトカム）】 資格取得者数70人、短時間勤務の障害者の採用者数10人 (4) 補正予算の概要 ア 助成金額が見込みを下回ることに伴う減額						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3人=28,500千円									
予算額			財 源 内 訳					一般財源	補正後の 予算額
決定額	△1,220							△1,220	4,160
現計額	5,380							5,380	

事業内訳書

事業名	全職員のための自己実現支援事業		
単位事業名	職員のスキルアップ支援事業	予算額	△ 1,220千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△1,220	—	
合計	△1,220	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	△1,220	—	1人あたり助成金額が見込みを下回ることに伴う補助金の減
合計	△1,220	—	